



南部町立南部中学校 学校だより 第20号

# チーム南部中

令和2年 1月31日 (金)

校長 望月和彦

## インフルエンザは無事収束！ 生徒会の始動！

3学期が始まると2年生を中心にインフルエンザ罹患者が急激に増え、1月21日、22日の2日間、2年B組に「学級閉鎖」の措置をとらせていただきました。その週は、登校している生徒たちの放課後の活動を中止し、26日の南部町駅伝大会への中学校としての出場も中止しました。駅伝大会を目標に一生懸命練習してきた生徒たちには残念な思いをさせたり、保護者の皆様にもご心配をおかけしましたが、インフルエンザから全校生徒の健康を守り、高校受験が始まっている3年生を守るための措置である事にご理解をお願いいたします。幸い週明けには欠席者は激減し、29日にはインフルエンザの罹患者ゼロという状態まで回復しました。3年生もすでに山梨県側の私立高校3校の入試が無事終了し、昨日と本日は山梨県の公立高校前期入試が行われています。3年生全員が高校入試という試練を自分の力で突破し、喜びあふれる春が来ることを心から願っています。

さて、3年生が高校入試や卒業に向けた取り組みに集中しているなか、生徒会のリーダーも正式に3年生から1・2年生に引き継がれることになりました。生徒会役員選挙は2学期末に行われましたが、会長と男女副会長にそれぞれ1名の立候補者ということで無投票当選となりました。2回に分けて行われた立会演説会では、立候補した3名が自分が目指そうとする学校や生徒会活動とその手立てについて述べました。生徒会長になる遠藤楓乃さんは「全員が笑顔で、活気があり、過ごしやすい学校をつくりたい。」女子副会長の依田紗采さんは「人と人との関わり合いを深め、南部中文化をさらに発展させていきたい。」男子副会長の稲葉朝哉くんは「生徒会活動の目的や本質を意識して、基準を高く持って取り組める学校にしたい。」3人とも、統合10周年にさらなる生徒会活動の発展をめざしたいという気持ちの伝わる演説でした。1月29日には、様々な行事やインフルエンザの流行等のため、延び延びになっていた選挙管理委員会による当選証書授与、新生徒会長によるその他の役員への委嘱、校長による生徒会役員への認証をまとめて行いました。正式に全校生徒の前で、新生徒会のリーダーが決定したことになります。会の最後には、3年生の望月満胤生徒会長をはじめとする旧生徒会役員8名が一人ずつ、退任の言葉を述べました。全員が「本部役員を経験できたことで成長することができた。」と話していました。集団をまとめた



8名の旧生徒会役員

り、集団の先頭に立って指示を出したり、事業を企画したり、運営したり、集団のために働くときには、苦しいことや辛いこともあったと思います。それでもそうした取り組みや活動に喜びや楽しみを感じ、自分自身の成長を感じられた8名には心から拍手を送ります。ご苦労様でした。そして、新しく生徒会役員になった遠藤楓乃生徒会長をはじめとする新生徒会役員は皆意欲にあふれたメンバーです。統合10周年目の全校のリーダーとしての大きな活躍を期待しています。しかし、役員だけでは生徒会活動は前には進みません。役員リーダーシップに、全校生徒一人ひとりがどう考え、どう行動するかにかかっています。全校生徒には一人ひとりが主人公であるという意識をもって、新生徒会をつくってほしいと思います。



8名の新生徒会役員

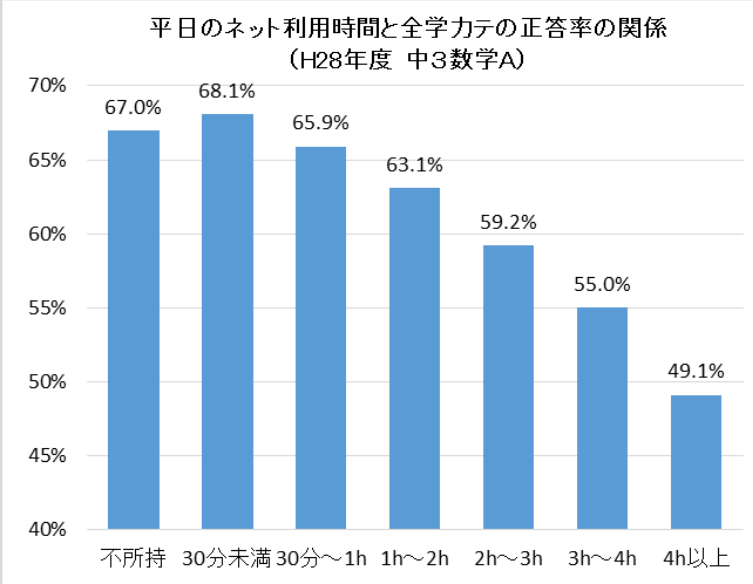
# 考えよう！スマホやインターネットの使い方

右の表は、1学期実施した調査の結果です。かなり多くの生徒がスマホやインターネットを利用している状況がわかります。スマホやネットは生徒たちの生活を快適にしたり、学習などに役立たせたりすることもできます。反面、

本校で実施した「スマホ・ネット利用状況調査」の結果より

自分のスマホを持っている生徒	61.3%
インターネットを利用している生徒	78.5%
夜10時以降、学習以外にインターネットを利用している生徒	55.8%
上に該当する生徒の内、2時間以上利用している生徒	25.8%

、たくさんの危険やトラブルの原因になっていることも、様々な場で話題になったり、メディアで報道されたりしているとおりです。本校としても、PTAで家庭でのルールづくりを呼びかけたり、家庭にそうした情報を提供したりしてきました。生徒たちにも具体的に危険性について学んでもらいたいと考え、1月22日に「スマホ安全利用教室」を開催しました。講師には、昨年10月に行われた町の教育を語る会でも講演をいただいたKDDIの大久保輝夫さんに来ていただきました。大久保さんは、全国各地で講演をされている専門家で、最新の情報をもとにして、スマホやSNSを含めたインターネットを利用することで、中学生も簡単に犯罪の被害者にも、加害者にもなりうるということを知りやすく話してくれました。「深く考えない行為が犯罪や被害につながること」「デジタル・タトゥーの怖さ（ネット上に書き込んだ情報は入れ墨のように半永久的に消せないこと）」「中学生がよく使うアプリの中には黒歴史製造機（無かったことにしたい過去の出来事を製造する機械）と呼ばれるものがあること」「オンラインゲームによってゲーム障害、ネット依存という病気にかかる子どもが増えていること」など、大久保さんは生徒との言葉のやりとりの中で、何気ない行為が大きな危険性をはらんでいることを教えてくれました。ネットの利用時間と全国学力学習状況調査の正答率の関係を表した右のグラフもとても参考になりました。ご家庭でも是非話題にしてみてください。



## 銀世界でスキーを楽しむ

1月15日(水)に1年生がスキー教室に行ってきました。場所は北杜市のサンメドウズ清里スキー場です。前日から降った雪のため、あたり一面は銀世界で、絶好のコンディションの中、1年生は楽しくスキーを楽しむことができました。けがや体調を崩す生徒もなく、良い思い出になったことでしょう。



## 日本の文化を学ぶ

1月21日・22日、1年生が音楽の授業の中で「箏」の演奏を学びました。ゲストティーチャーとして椿根にお住まいの若林卓子先生が指導してくださいました。A組B組それぞれ4時間ずつの授業でしたが、全員で「桜」を演奏できるまでになりました。日本の伝統文化を学ぶ良い機会になりました。若林先生からは、「南部中の生徒は集中していてとても素晴らしい」と褒めていただきました。

